



令和2年度 シンポジウム

データ利活用に向けた宮崎の取り組み

令和3年

3/26

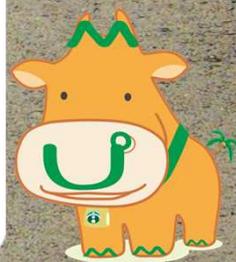
16:00 金

18:30

オンライン開催

参加申込みは ↓ こちら

<https://forms.gle/zG6SSiRSe8zib9dF6>



宮崎におけるデータサイエンスの可能性

自然豊かな宮崎は、農業、畜産業、林業、漁業がとても盛んな地域です。しかし一方でこれら産業は多くの課題を抱えている現状があります。また、少子高齢化による人口減少、都市部への人口流出による人手不足も深刻で、魅力ある街づくりが求められています。そのため、身近にある地域のデータを駆使することにより、問題解決に繋がるだけでなく、より付加価値の高い商品を創り出したり、新たなサービスを提供できたり、安心した生活を送ることができたりと宮崎の可能性は無限に広がります。

現在、数理・データサイエンス・AI教育が、全国的に展開されようとしています。文系理系の垣根を越えて、データの分析・活用方法について学び、私たちが暮らす宮崎の未来を一緒に作りませんか。

プログラム		
16:00~16:05	開会挨拶	宮崎大学 理事(教育・学生担当 副学長) 新地辰朗
16:05~16:15	事業説明	「数理・データサイエンス・AI教育強化事業について」 宮崎大学 数理データサイエンス部会長 (基礎教育部長) 秋山博臣
16:15~16:25	報告	「宮崎大学におけるデータサイエンス教育」 宮崎大学 基礎教育部 特別助教 野見山将太
16:25~16:55	事例紹介①	「データを活用した農業の未来」 テラスマイル株式会社 代表取締役 生駒祐一 氏
16:55~17:05		休憩(10分)
17:05~17:40	事例紹介②	「イベント制作とデータサイエンス/映像とデータサイエンス」 株式会社 AVC放送開発 営業本部営業課 課長 黒木俊輔 氏 運用部技術課システム開発係 長友暁 氏
17:40~18:20	事例紹介③	「勘と経験と思い込みと思いつきのまちづくりからの脱却」 日南市マーケティング専門官 田鹿倫基 氏
18:20~18:30	質疑応答	
18:30	閉会挨拶	宮崎大学 教育学部長 藤井良宜

シンポジウム詳細

開催形式

オンライン(Zoomウェビナー)定員1000人(Webサイトからの事前参加登録)

対象

宮崎県内外の教育関係者・自治体・企業・学生のみなさま

参加費

無料

お問い合わせ

宮崎大学 学生支援部 基礎教育支援課 数理DS担当

TEL 0985-58-7861 ☒Email miya-mds@of.miyazaki-u.ac.jp